



ネットレベルと「共有・協働」

東京芸術大学大学院 博士後期課程 日高良祐
ryo.pddk@gmail.com

ねらい

- 具体例を見ながらネットレーベルを紹介

ここでのICT活用：パソコン（制作）とネットワーク（共有・協働）の日常的な使用

若者（高校生を含む）による参加

- ネットレーベルの文化から提言できること

フリーなツールやリソースの利用

若者を取り巻いている音楽とICT活用の日常を知ること

ネットレーベルとは：概要

➤ オンラインの音楽レーベルを名乗るウェブサイト

□ ネットレーベル文化の規模

日本国内を拠点にしたネットレーベルだけでも、100を超える数のレーベルが活動している。

□ ネットレーベル文化の歴史

英語圏では2000年頃から、日本では2005年頃から登場。
2010年前後から爆発的に数を増やしている。

✓ しかし、マスメディアで取り上げられることはほぼなく、全容を見ることは難しい。

ネットレーベルとは：5つの特徴

「制作の側面」

- 無料でMP3ファイルを配信
- DTM/DAWによるダンスミュージックへのジャンル偏向
- Creative Commons Licenseの使用等、二次流用を意図的に許容

「共有・協働の側面」

- レーベルオーナーとミュージシャンとの金銭契約を伴わない協働
- Twitterに代表されるSNS利用に依存した宣伝とコミュニティの形成

ネットレーベルとは：「制作」

- ✓ 無料でMP3ファイルを配信
 - ✓ DTM/DAWによるダンスミュージックへのジャンル偏向
 - ✓ Creative Commons Licenseの使用等、二次流用を意図的に許容
- “Maltine Records” のウェブサイト

ネットレーベルとは：「共有・協働」

- ✓ レーベルオーナーとミュージシャンとの金銭契約を伴わない協働
- ✓ Twitterに代表されるSNS利用に依存した宣伝とコミュニティの形成
- Twitterの利用の様子
Maltine Recordsからのリリースをめぐるやり取り
- クラブイベントの様子
2014年5月5日「東京」 @恵比寿リキッドルーム

ネットレーベルとは：「共有・協働」の重要性

- ✓ DTM/DAWなどパソコン使用を前提とした音楽の「制作」
- ✓ ネットワークに依存した「共有・協働」によってレーベルとして成立
 - 日本国内で2010年頃から数を増やした理由
 - ICT活用が支えている「共有・協働」
- 若者（高校生を含む）を取り巻いている音楽とICT活用の日常

ネットレーベルの文化から提言できること

□ フリーなツールやリソースの利用

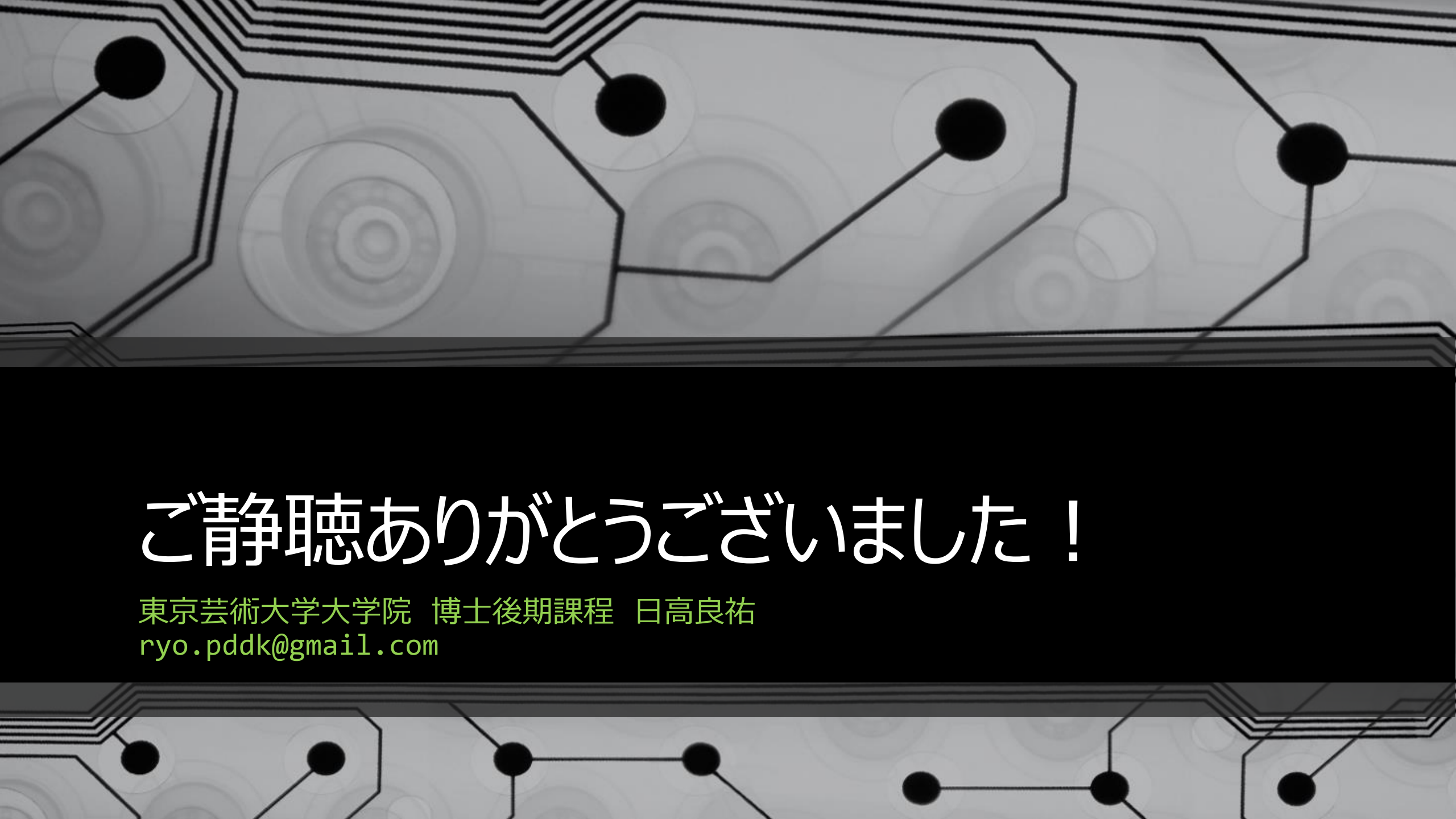
「制作」：フリーソフトの使用

「共有・協働」：音源のアーカイブ

➤ “Internet Archive” での英語圏ネットレーベル等のデータ資産

□ 音楽のネットリテラシー教育

「制作」に偏ったICT活用だけではなく、「共有・協働」にも目を向ける



ご静聴ありがとうございました！

東京芸術大学大学院 博士後期課程 日高良祐
ryo.pddk@gmail.com